

令和6年度第7回三郷区地域協議会 次 第

日時：令和6年12月17日（火）午後6時30分～
会場：三郷地区公民館 2階 集会室

1 開会

2 自主的な審議

(1) 自主的審議事項について

3 事務連絡

4 閉会

【次回協議会 : 1月28日（火）午後6時30分～、三郷地区公民館】

三郷区地域協議会 自主的な審議について

◎第4回三郷区地域協議会（令和6年9月24日開催）

第1回班別意見交換（下記まとめ）

地域の課題や関心があること

- ・これからの農業を考えると、跡継ぎがないのが心配である。
- ・公民館の整備を希望する。…前期の地域協議会委員が意見書を出している。
- ・免許を返納した場合の交通手段が心配。
- ・三郷小学校廃校後の活用…他の地区の人も集まれる場所に。児童クラブの存続できないか。
- ・三郷区から学校がなくなると、若い世代の転出が進んでしまうのではないか。
- ・団体の横のつながり強化が必要…同じ人が関わっていたりする。

地域または地域協議会で取り組みたいことなど

- ・地域のことをもっと知りたい。（世帯数、高齢化率、団体の状況など）
- ・若い人も高齢の人もみんなが良いといえるような魅力ある三郷を考える。
- ・地域の現状を知るために、住民アンケートをとってみたいらどうか。
…地域の課題を明確にしたり、住民の困りごとの解決ができればよい。
- ・三郷区で冬のイベントができないか。…みんなで楽しめるもの。
- ・三郷夏祭りをより充実したものになりたい。
- ・花をいかした地域活性化や春駒の伝承について、もっとアピールしたらよいのでは。

◎第5回三郷区地域協議会（令和6年10月29日開催）

地域のことを知る（三郷区の沿革、人口推移など、区内の団体について）

主な意見・感想

- ・三郷区について知らないことが多かった。
- ・団体がたくさんある。重複している役員もいるのではないか。
- ・役員の成り手がいない。固定化されている。
- ・三郷小学校が廃校になると、子どもに関わる団体が変わってくる懸念がある。
- ・各団体の行事予定など情報交換し、住民に周知することは良いことである。
- ・高齢化が進んでいるので、高齢者に目が行きがちだが、子どもたちのためにも住みやすい地域づくりが大事である。

◎第6回三郷区地域協議会（令和6年11月26日開催）

第2回班別意見交換（下記まとめ）

自主的な審議で話し合うテーマについて

- 1班
- 高齢者のリスク（不安）
 - ・買い物、通院、ゴミ出し、急な体調不良、火災 等
 - 今いる人同士のコミュニケーション
 - ・新しく入ってくる人も少ない、親世代はそれでもつながりあるが若者世代は同じ集落でも顔も知らない人が多い。
 - 町内の情報伝達
 - ・有線放送廃止による情報伝達の遅れ
 - ・SNS活用 ⇄ 活用できない人への対応
 - 横のつながり
 - ・何らかの団体、活動に参加していないと、ほぼつながりなし。
- 2班
- 三郷区の美しい風景を守り、魅力を発信するためにはどうしたらよいか。
 - ・三郷の四季折々の田園風景や遠くに見える妙高山、白鳥の姿が美しいとみんなが思っている。
 - ・他区の芝桜やヒマワリ、コスモスなどの景観づくりの取組を三郷でできないか。
 - ・写真コンテスト、写真教室などを行って、作品を公民館の文化祭で展示する。
 - ・SNSに三郷の風景をアップして魅力を発信する。

全体での意見交換

三郷に住み続ける理由・三郷の魅力について

- 安心感、愛着
 - ・小さい頃から住んでいた安心感、知り合いや幼なじみの存在
 - ・地域の人たちの人柄の良さ
- 住みやすさ
 - ・交通利便性の良さ（車があれば）
 - ・商業施設、学校、病院等が近くにある。
- 美しい景観、自然環境
 - ・妙高山、田園風景、雪景色、白鳥飛来

三郷区における「地域活性化の方向性」

≪三郷区の地域活性化に向けて≫

三郷区の美しい風景、盛んな農業、文化・歴史の資源、アクセスのよさをいかして、人と人のつながりを大切にした活力と魅力あふれる地域を目指します。

○構成要素

・ 地域リーダーや次世代を担う人材の育成と社会教育の充実
・ 田園と山々が織りなす四季折々の美しい風景を守り、魅力を発信
・ 新幹線駅や主要道路への良好なアクセスを活用した地域振興
・ 地域産業の農業をいかした三郷米や農産物のブランド化の推進
・ 伝統芸能「春駒」の伝承・保存と歴史的文化財発掘等の活動継続の支援並びにそれらの文化的・歴史的意義の共有
・ 地域全体で高齢者や子どもたちを支え合うまちづくりの推進